

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	膵・胆道系腫瘍における遺伝子変異由来がん抗原の同定
	研究目的	本研究の目的は、膵臓がん・胆道がんの患者さんよりがん組織をご提供いただき、がん細胞の持つ遺伝子変化に由来するがん抗原を同定し、新しいがん免疫療法を開発するために有用な情報を得ることです。なお、本研究で得られた成果を公表する際に、個人が特定されない情報（臨床情報や解析結果）が研究用公的データベースに登録され、製薬企業等民間企業を含む国内外の様々な研究において使用される可能性があります。
	研究対象者	2017 年 11 月から 2021 年 3 月に当センター消化器外科にて膵臓がん・胆道がんの治療（外科手術）を受けた患者さんのうち、包括同意書により摘出組織の使用を承諾された方
	研究期間	西 暦 2 0 1 7 年 1 1 月 1 6 日 ～ 西 暦 2 0 2 7 年 3 月 3 1 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		☐ 血液 ☐ だ液 ☒ 臨床検査データ ☒ 病理組織 ☐ 排泄物（便） ☐ その他（記載して下さい） ☐ 毛髪 ☒ 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当 セ ン タ ー 研究責任者	臨床研究所 がん免疫療法研究開発学部 笹田 哲朗
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターで の実施診療科/ 部局等	臨床研究所、消化器外科、病理診断科
	共同研究の場 合、共同研究機 関および各施 設での研究責 任者	神奈川県立がんセンター 消化器外科 山本 直人 神奈川県立がんセンター 病理診断科 宮城 洋平 東京大学 アイソトープ総合センター 川村 猛 東京大学 先端科学技術研究センター 油谷 浩幸 ブライトパス・バイオ株式会社 中村 徳弘

※ 2025 年 5 月 22 日改訂